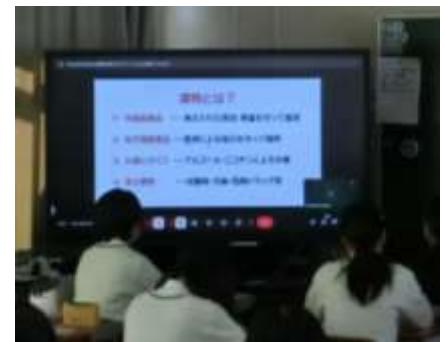


1/19 薬物乱用防止教室を実施しました

全校生徒を対象に、高田警察署から講師の方をお招きし、「薬物乱用防止教室」を開催しました。生徒たちが自分自身の「大切な人生」を守り、正しい判断力を身に付けるための貴重な学びの時間となりました。講演では、薬物乱用がもたらす恐ろしい影響について、科学的な視点からお話をいただきました。

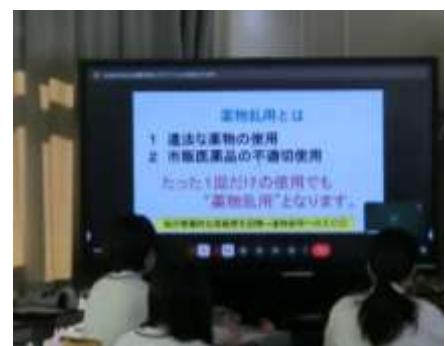
■ 薬物乱用の現状：身边に迫る危機

現在、全国的に大麻事犯の検挙人員が高止まりしており、特に検挙者の約7割を30歳未満の若者が占めているという深刻な現状があります。また、中学生の検挙者も報告されており、決して他人事ではない問題です。



■ 最近の社会問題：オーバードーズや電子タバコ

近年、若者の間で急増しているオーバードーズ（市販薬の過剰摂取）についても注意喚起がありました。



・つらい気持ちから逃れるための「間違った目的」での使用は、

呼吸停止や死亡につながる危険があります。

・「ゾンビたばこ」と称される危険ドラッグ（エトミデート）や、20歳未満の使用が容認されない「電子シーシャ」など、巧妙に広がる誘惑についても学びました。

■ 大切な人生を後悔しないために

講師の先生からは、「過ちは一瞬、後悔は一生」という力強いメッセージをいただきました。

・一時の好奇心や誘惑に負けないこと。

・悩みがあるときは、危険な薬物に頼るのではなく、誰かに相談すること。

薬物は、健康な体、家族、友達、そして将来の夢や目標をすべて奪ってしまいます。本校では今後も、生徒たちが「一度しかない大切な人生」を正しく歩めるよう、指導を続けてまいります。

【生徒の感想より（抜粋）】

- ・「身近な市販薬でも、使い方を間違えると薬物乱用になると知って驚きました。」
- ・「脳が書き換えられてしまうという話が怖かった。絶対に手を出さないと決めました。」
- ・「すごく説得力のあるお話で、絶対に薬物乱用はしないと強く思いました。」